

この前言ってくれたった人、手を上げてごらん。(6人挙手) 何人かいたはずだね。

吉田君。何を言ったんだっけ。

C<sub>4</sub> 何を書くか決める、です。

T<sub>11</sub> 何を書くか決めるということだったね。みんなのノートに書いてあるはずだから、書かなくていいよ。「何を書くかきめる」と板書。

T<sub>12</sub> 何を書くのか、それを決めるということだったね。あとだれだっけ。こうちゃんも、何か言ってくれたね。はい、山本君。

C<sub>5</sub> はい。書くことを順番に書く。

T<sub>13</sub> うん。順序よく書く、ね。

「じゅんじょよく」と板書

T<sub>14</sub> 順序よく書いていけばいい。遠藤君は、何言ってくれたんだっけ。

C<sub>6</sub> 段落をまとめて書く。

T<sub>15</sub> うん、段落をまとめて書く。それから、松川君も何か言ってくれたっけな。

C<sub>7</sub> 段落をおさえて――。

T<sub>16</sub> ああ、おさえて――。似たようなことだね。段落にまとめる。

「だんらくにまとめる」と板書

T<sub>17</sub> それから、なかなかみんなからでなかったの、先生、こういうことも大切だよって、いったのあるだろう？

C<sub>8</sub> 読みやすい文字で書く。

C<sub>9</sub> 大事なことをおとさない、ね。(板書)

T<sub>18</sub> 漢字ならったね。(大事な)

C<sub>0</sub> はい。(多くの子)

T<sub>19</sub> 最後に、きのうですか、手紙を書くとき、こんなこと大事だというのをね。それも、ノートに書いてあるはずだから、みてごらん。書いてある？

C<sub>0</sub> はい、あります。(多くの子)

T<sub>20</sub> これは、小林さんのノート、写させておいてもらったもの。こんなこと大事だってね。最後に、段落にまとめる。話しかけるような気持ちで書くのも大切だなんてありますね。で、こういうことが、単元の名前に書いてある、ととのえて書く、書くことをととのえて書こ

は、次のようである。

○ 前時の学習内容(予定したこと)

1 Nの構想メモを直す。(T・P)

2 はがきの書き方を調べる。

3 手紙を書くとき大事なことを、気をつけることを確認する。

書くことをととのえる ――― 手紙

(1) だれに

(2) どんなことを書くかをきめる

○ 知らせること(あいては、どんなことが知りたいか)

○ たずねること

○ さそうこと

○ お礼 ○ お願い

(3) 書くじゅんじょをきめる

(山下さんの手紙のれい)

① はじめのあいさつ お礼のことば

② 知らせたいこと (1)~(3)

③ さそっていること

④ 終わりのあいさつ

⑤ 日づけ

(気をつけること)

(1) だんらくにまとめる(一つのことを、一つのだんらくに)

(2) 話しかけるような気持ちで、言葉づかい

(3) 読みやすい文字

4. 次時の学習内容が言える

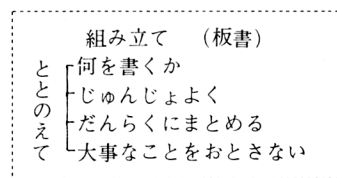
前に書いた手紙を書きなすために組み立てをつくる。

(1) みんなで組み立てを考える。

(2) 自分の手紙を読み返す。

(3) 組み立てをつくる。

この中から、子どもたちとの問答によって取り出したのは、次の4つである。これらの項目のう



ち、「じゅんじょよく」と、「だんらくにまとめる」の2つが構成の上から大

切に扱われ、友だちの手紙文を調べる際のポイントになるのである。

子どもたちは、前時の学習をまとめたノートを見ながら、友だちの発表をきいてうなずいている。簡単にふれる程度で、先へ進もうとしていることがわかる。